

群馬県オリジナルなし新品種の 名称が「^{めいせん}明泉」に決定しました

群馬県オリジナルなし新品種が商標名「明泉」(読み:めいせん)を取得しました。

「明泉」は群馬県で初めて育成した第1号のなし新品種で、令和7年から県内各地で栽培が始まり、今年、初めて果実が実りました。今後、令和10年頃の本格出荷・販売に向けて、徐々に収穫量が増えていく予定です。

1 「明泉」の特徴

- ・8月上旬に収穫でき、盆前需要に対応
- ・大玉で食感良好な青なし
- ・冷やすと引き立つ爽やかな食味

8月			9月			10月	
上	中	下	上	中	下	上	中
明泉 盆前需要 幸水 お盆			豊水 二十世紀 にいたか新高				

「明泉」と主要なし品種の収穫時期



収穫期の「明泉」

2 「明泉」の由来

- ・交配親の元になった品種「明水」(あけみず)から
- ・「温泉王国ぐんま」で育成した、泉のように瑞々しい食味
- ・上毛かるた「^{めいせん}銘仙織出す伊勢崎市(育成地:群馬県農業技術センター)」から引用

3 「明泉」の栽培、生産状況

- ・令和 7年 3月 県内なし生産者に穂木の配布を開始
- ・令和 8年 8月 一部生産者で初結実
- ・令和10年 8月 本格販売開始見込み

※栽培は群馬県内の生産者に限定

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

